



かわにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第2号
平成30年9月10日

教育活動への思い ～修学旅行を例として～

教 頭 石 崎 隆

当校では、「豊かな生活を送るための様々な学習や体験を通して、将来の夢や目標をもって取り組もうとする態度を身に付ける」ことを学部目標として教育活動を実施しております。その教育活動の大きな柱の一つが修学旅行（東京方面）です。

生徒は、2年時に宿泊学習（長岡・1泊2日）で、列車での乗車マナーやビジネスホテルでのユニットバス等の利用方法を学習しました。また、いくつかのグループに分かれて長岡市内の商業施設にて買い物学習や公共施設の利用体験を行いました。親元から離れて宿泊することに不安を抱く生徒もおりましたが、友達と協力して無事に成功させることができました。これらの学習を土台とし、自分たちの集団行動での改善点やよかった点を振り返り3年時への修学旅行へとつなげていきます。

3年生となり、修学旅行を想定して活動グループでの校外学習を実施いたしました。グループごとに調べ学習を通して興味がある施設やお店を選び、行動計画を立てた上で出掛けました。交通ルールや時間を守ることに気を配りながら、目的地を目指して活動することを学びました。

本番の修学旅行（9/12（水）～9/14（金））に向けて事前学習を十分に行い、充実した学習を行います。今後、生徒にとってこれらの学習を体験で終わらせることなく、きちんと振り返りを実施して確かな経験になるようにいたします。今後とも当校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

修学旅行で身に付けてほしい力

<真剣に働く人たちがどのように働いているか実際に見学する>

個人としてはなかなか見ることでできない施設を、修学旅行の団体として見学する。そして、真剣に働く姿・働くことの大切さに気付く。

今年度は、障がい者雇用に力を入れている「日本理化学工業株式会社」を見学します。会社のHPには、次のことが記載されています。

一人一人が一生懸命働くことのできる環境作りを行っています。

当社では、全体の70%以上が知的障がいのある社員です（全社員85名中63名が知的障がい者／平成30年2月現在）。障がいのある社員が、まず今ある能力で仕事ができるように、そして、より能力を高めていけるように、作業方法の工夫・改善をおこない、環境作りに努めています。

<卒業後の社会生活の充実を図るため、自立して生活するための練習をする>

大勢の人が食事をする食事会場の雰囲気を知り、食事のマナー等を学ぶ。（バイキングでの食事の取り方や食べ方のマナー）、ホテルの使い方（ユニットバスの使い方）など卒業後に宿泊をする際のスキルアップを目指します。

修学旅行で行った楽しい経験があれば、卒業してから友達や家族と「働いて自分で貯めたお金で、もう一度東京に行ってみたいよね。」等、自分の力や経験で訪れることができる思い出の場所を修学旅行先にする。

子どもの悩みを聞くときは

暑かった夏休みが終わりました。

夏休みが終わる、学校がまた始まるということで、精神的に不安定になっている人もいるかもしれません。子どもが何か悩んでいるなど感じたときにどうやって話を聞いてあげたらいいのでしょうか。

いつもと何か様子が違うと感じたら、「最近元気がないみたいだから心配しているんだけど、何かあった？」などと声を掛けてあげてください。（私はあなたのことを心配している）という気持ちを伝えることが大切だと言われています。時にはきつい言葉を返されるかもしれませんが、子どもは聞いていないようで聞いています。「子どもを守るため」という、ぶれない思いで関わってください。

もし、子どもが悩みを話し始めたら、とにかく聞き役に徹します。「でも、それは」など否定的な言葉で子どもの話を遮ったり、自分の経験や価値観を押しつけたりするのは禁物です。とは言うのですが、それが難しいんですよね。「〇〇が嫌だった」と子どもが言ったら「〇〇が嫌だったんだね」と同じ言葉を繰り返したり、「そうなんだ」と相づちを打ったりすると相手が話しやすくなります。

「何がどうなれば、今のつらさが少しでも軽くなる?」と問いかけることも有効だそうです。子どもにどんな支援が必要か考える手助けになりますし、子どもが自分の困りごとや問題を冷静に考えるきっかけになります。

そして、「問題はすぐに解決しないかもしれないけど、一緒に考えていこうね。」とか「何かあったら、また話を聞くからね。」と子どもに寄り添ってあげてください。

また、そんなときは、学校にも是非連絡をください。家庭と学校が連携し、子どもたちが安心して2学期の学校生活をスタートできるように支援していきましょう。

生徒指導主事 齋木 秀夫



お知らせ



○10月27日(土) 開校記念式典・開校記念文化祭を行います！

開校記念式典 10:00~10:40 校旗樹立、校歌披露 など

開校記念文化祭 10:50~13:00 ステージ発表(音楽)、作品展示、コーヒー・紅茶パック販売
清掃・バックヤードの実演・体験、喫茶営業、PTA 活動 など

多くの皆様のご来校を、心よりお待ちしております。

○川西高校資料室が整備されています

昨年度末の川西高校の閉校に伴い、今年度から、当校の教務室隣にメモリアルルームとしての資料室が設置されています。



中には数々の栄光の足跡が！

前期の教育活動を振り返って



【ふれあいジョブ・現場実習（2・3年生）、校内実習・進路校外学習（1年生）】

2・3年生は地域の企業や事業所でのふれあいジョブや現場実習を通して、実際に働く経験を積み、働くことの喜びや大変さを感じ、自身の適性や課題を明確にすることができました。1年生は、校内実習で地域の事業所から依頼された仕事に取り組み、また、進路校外学習では職場見学や事業所見学を行い、実際の働く現場に触れ、後期の実習に備えました。



【新潟県職業技能検定・魚沼地区職業学習発表会】

検定には、清掃介護班の2・3年生が参加し、日頃の学習の成果を発揮しました。発表会では、カフェ班の飲み物提供、クラフト班のコーヒー・紅茶パック販売、清掃班の実演を行いました。



【社会生活・校外学習・宿泊学習、家庭生活】

校外学習では、余暇活動や買い物、公共交通機関の利用などを体験的に学びました。2年生は長岡での宿泊学習で班別活動を行い、自分たちで行きたい場所を選んで計画を立てました。

家庭生活では、調理実習で麺料理を作りました。同じメニューで調理実習を繰り返し、定着を図りました。夏休みには、宿題として調理や掃除など、家庭内でのお手伝い（実践）にも取り組みました。



【開校記念体育祭】

赤軍・青軍に分かれて、競技やアピールに全力を尽くしました。今年は委員会毎に競技の準備や後片付けも担当しました。

午後はエンジョイスポーツタイムとして、保護者の方も参加してポッチャを楽しみました。



【バス停清掃、香港留学生との交流、マイタウンコンサート】

いつも使わせていただいている感謝の気持ちを込めて、環境美化委員会が川西総合体育館前バス停の清掃ボランティアを行いました。これからもきれいに大切に使用したいという感想が聞かれました。

香港からの留学生を迎え、ダンスやボッチャを通して交流を深めました。言葉がほとんど通じず、最初は戸惑いもありましたが、同年代の生徒同士でだんだんと打ち解けて、楽しい時間になりました。

マイタウンコンサートでは、普段なかなか聞くことのできない生演奏を聴くことができ、音楽の素晴らしさを再認識しました。保護者や地域の皆様からもご来校いただき、一緒に楽しみました。



【避難訓練、防災教育、スマホ・ケータイ安全教室】

避難訓練では、火事を想定して屋外に避難した後、生徒と職員が水消火器を使っての消火訓練を行いました。普段操作する機会のない消火器の扱い方を体験的に学ぶことができました。

2年生の宿泊学習では、長岡の震災アーカイブセンターを見学し、地震の恐ろしさや地震の際の注意点などについて学びました。

外部講師を招いてのスマホ・ケータイ安全教室は今年で3回目です。今年は保護者の皆様にも参加していただき、親子でスマートフォン等の安全な使い方を学びました。



**【職員研修、保護者・職員向け性に関する講演会、
実習激励会への講師招聘】**

職員研修では、地域の企業や福祉施設の見学会や、車いすの操作・支援法の練習会、性に関する講演会などを開催し、専門性の向上に努めました。

実習の激励会に卒業生や就業・生活支援センターあおぞらの方を講師に招き、今現在の働く生活や働くために必要なことについての話を聞きました。

